

学体連会報

発行日・昭和59年6月25日
 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
 国立オリンピック記念青少年総合センター内
 財団法人日本学校体育研究連合会
 発行者 会長 大石三四郎



沖縄に国際海洋スポーツ大学を

会 長

国立特殊教育総合研究所所長 大石三四郎

沖縄の子供たちの元気な姿を見てやってください。沖縄の子らが、どれだけスクスク育ったか見てください。親や先生が、大切に大切に育てた子らが、どれほどたくましくなっているか見てやってください。この頃は沖縄出身で日本選手権をとったり、世界選手権をトルモノが多く出るようになりました。

また、学校を見てください。トテモ立派になりました。幼稚園も、養護学校も、また、小・中・高校も、目をミハルような出来ばえです。大学も立派になりました。

私は是非、全国の先生方に、この全国大会を期して沖縄に来て、沖縄の子らの手を握ってくださることを望んでいます。

沖縄の全国大会は、本土の研究会とは断然チガッタ雰囲気があるものと信じています。そこには、沖縄が今後東南アジアの中心に位置することを感知させる何かがあります。かつては、この沖縄が一つの核として、南西諸島はもとより、東南アジアに作用していたのであります。沖縄は、日本の最南端にあって、東南アジアの文化の中心として働いていたことを思い出してください。日本への文化の渡来は、沖縄経由という道すじがあったのです。

今や日本は、東南アジアの人々に対して環太平洋の文化交流を活発にしようとしております。このとき、またもや沖縄が過去幾百年にわたって果たしてきた役目を、もう一度新しい立場で機能しようとしています。

航空機の飛ぶターミナルの一つのコア（核）になっているのが那覇の空港です。ここから各方面に飛行機が飛んでいます。したがって、将来、恐らく最先端技術を中心とした産業も、この地に起きる

可能性が十分にあるし、また国際情報の核にもなるのではないのでしょうか。

このように将来を見ると、この沖縄が今後世界に果たす役割は、大変重要なものになると思います。そして、この地に育った若い人が東南アジアは勿論のこと、世界の各地に雄飛していくに相違ありません。

そんなことを考えると、本年この沖縄で、九州地区の学校体育研究会と合同で全国大会が開催できることは、日本の学校体育の躍進にもつながる大きな意味があると思います。私は、将来はこの地に海洋スポーツを中心としたスポーツ大学ができるのではないかという予感がします。そんな時には、遠く東南アジアの南方諸国はいうに及ばず、各国から多くの留学生がやってくることでしょう。私がこのようにいうことは、決して夢ではない。現実のものとなってこの地に現れる確率は非常に高いと信じます。この意味づけの走りとして、沖縄に海洋博が開かれたではありませんか。この海洋博の行われた位置に、そのまま海洋スポーツ大学が設立されるといっても、誰も不思議には思わないでしょう。私は今日、日本の学校体育研究テーマの一つとして、海洋スポーツを取り上げたかったのであります。しかし、未だその時期がきていません。漸く海洋スポーツのメッカ沖縄で、全国大会が開かれるようになったのです。しかし私は、この大会に参加される全国の学校体育指導者が、この地に海洋スポーツ大学ができたならよいな、ときっと思うようになってくださるに相違ないと信じています。それだけでも大会を沖縄で開いた価値があると思います。

考えてみてください。日本は狭いのです。土地が

無いのです。グラウンドを作るにしても体育館を作るにしても、土地の確保に大変な苦しみをしています。ところが、目を転じてみてください。日本のマワリは海です。広い広い海です。この海にどうして青少年を押し出さないのでしょうか。日本の学校体育も

そのある部分を海洋に求めるときがやってくる」と信じます。

全国の本大会にご参加の先生方、是非、日本の前途を見つめ、この沖縄の研究大会に来ていただきたいと願っています。

指導者について

副会長
学習院大学教授



鈴木 正 三

はじめに

新制大学発足当時、アメリカ教育使節団や進駐軍の指導があり、体育教育も大きく変った。民主主義教育とはどういふように行なうのか、指針がなかったことが私にとって大変困ったことであった。こうした時にアメリカから派遣されたニューフェルド氏の指導をうけた。IFEL同期生 25 名の中に私も加わることが出来た（昭和 25 年）。この期間は 3 ヶ月で、内容は民主主義における体育についてであったので、新しい体育の指針が得られたことが私にとって幸なことであった。当時教養をうけたことの一端を思い出しながら記するとともに、IFEL 仲間が指導者について研究した内容についても述べ、参考に供したいと考えて、「指導者について」と題し、執筆することにした。

すべての教育活動には指導者が必要である。わが国における指導者養成機関の存在理由はここにあると考えられる。指導の結果は、良かれ悪しかれその責任は教師にあるといえよう。故にすべての指導者は優秀でなければならない。特にその指導力は他の専門職と同じように、体育においても重要な条件である。あの先生のお蔭で体育が好きになったとか、嫌いになったということをよく耳にするからである。それでは日本の大学の現状はどうであろうか。体育の指導者になろうとする大学生の程度が高く保たれ、聡明で有能な教養ある男・女の体育指導者を選び訓練するという責任を果たしているといえるであろうか。若し、そうでないとするならば、学校卒業後も講習会や研修会などを通して良き指導者となるよう努力しなければならないことは当然である。それでは良き指導者とはどのようなものであろうか。理想像とも云うべきものが努力目標として必要

となってくる。

理想的な教師像の背景となるものは教育観である。民主主義国であるところから、民主主義における体育は民主的教育の原理に基づいたものであり、日本の国民の文化に根ざしていなければならない。即ち男子にも女子にも、初心者に対しても熟練者に対しても、またノーマルな人にもアブノーマルな人に対してもすべて等しい機会を与える計画を立てて、教育しなければならないということである。その為には教師は民主主義の実践者であり形成者であること、良い社会人（日本人）、世界人として、広く深い教養を保持していること。優秀な専門家として、専門的教養や知的教養を身につけていること。良い体育指導者として、学生生徒児童と社会に対し権威と価値を示すものであることなどであろう。更に教育は教師と生徒との相互作用であると考えられるならば、生徒が教師に対しどのような要求を持っているか、このことを無視することは出来ないのである。これらを加味した体育指導者の理想像は身体的・人格的資質、一般・専門教職教養、指導力等の面からえがくことが必要である。

まず身体的資質では容姿、音声、健康、保健の習慣、スキルとアビリティなどが正常であること、人格的資質では人生観、社会性、明朗性、成功性、判断力、安定感、情緒安定度、自信、親切、礼儀、尊敬の態度、協調の習慣、指導力（リーダーシップ）、責任ある態度、寛容の態度、独立の性質、正直の性質、余暇の善用、創造性などに富んでいること。

一般教養として、外国語、人文科学、社会科学、自然科学などに対する興味や熱意があること。

教職教養として教育原理、教育心理、教育法、教育実習、教育社会学、社会教育、教育統計、評価、教育行政、教育財政、図書館学などに興味と熱意を

どの程度もっているか。

専門教養として、体育原理、体育管理、教育法、保健などの基礎学科に興味と熱意を持ち、それぞれにある程度の能力を身につけていること。

実技として、体操や功技、陸上競技や力技、各種球技、季節体育やダンスなどに特技を持っていること。

指導能力として、教職観、表現能力、生徒を管理する能力や技術、生徒を励ます能力や指導する能力、計画や実行の能力、生徒に適応させる能力、結果を調整する能力、指導の結果を評価する能力、他人のアドバイスを参考にする能力、趣味と努力の範囲などがあげられる。

これら総べての資質に秀でることは困難なことであるが、努力目標とすることが大切であろう。例えば、人格的資質について生徒が教師に望むところを見ると、円満であること、公平無私であること、常に子供と一体であることなどがあげられる。故に一般的にいえることは、愛情豊かで優しい、明朗快活でユーモアに富んでいる、親切、公平、勤勉、誠実、規律・節制を守り、寛大なうちにも権威を持つこと、熱心で行き届いた指導をする、生徒を良く理解する、気品あり言語態度が洗練されている、生徒と一体となり得ることなどが強く求められていることなどを思えば、いかに困難事であっても努力目標とすることが望まれる所以である。更に私は指導の価値をはかる基準を個々の生徒の利益（幸福）におくことを提案したい。民主主義的教育においては、他の基準は認められないほど大切であるからである。チームの勝利の為に学生・生徒・児童を犠牲にする例を良

く耳にする。もしそのようなことがあれば尚更である。又、体育の実技指導においては、科学的知識を認めなければならないと考えている。運動に対する誤った主張、載医者流の指導は許されないばかりでなく、発育発達、年齢、性に応じた健全なプログラムによる指導や能力の限界を知った指導者による指導が期待されるからである。このように述べるのは、体育が正しく指導されなければならないからである。こうした観点から、留意すべき事項を更に 2、3 附加してみたい。即ち、体育実技の成果は単に人間有機体の発達ばかりでなく、集団行為の面からも評価されるものである。体力、技術面における指導が綿密な計画のもとで行なわれると同じように、道徳的基準における指導が行われなければならない。体育の実技には他の表現的芸術、例えば美術、演劇、絵画、彫刻と同じ要素が含まれている。やらせることばかりでなく、見ることも大切である。体育は科学的・社会的文化的ななかにある一つの独立した専門分野であって、独自の立場を持っていて、他に従属していないが人間の幸福（利益）の為には他の分野に協力すると共に協力も受けるものでもある。優秀な指導力は他の専門職と同じように体育においても重要な条件である。体育における理論と実際とは常に成長し、発達して行くものである。

以上、体育指導の指針となる事項について述べたが、終りに体育指導者として私が絶えず努力している自己評価項目、身体的資質、人格的資質、指導能力、一般教養、教職教養、専門教養などについて自己評価表を記し、参考に供したいと思う。

（ 8 ページの図参照 ）

地方だより

千葉県だより

— 学校体育研究大会について —

千葉県学校体育研究連合会理事長
千葉県教育庁体育課学校体育係長



土屋 孝 夫

最近国・県の予算、各種事業から学校経営・日々の学習指導に至るまで、その在り方・進め方の再検討が行われていることは周知の通りである。

ここで、その一例として本県が取り組んで既に 3 年目を迎えようとしている大会（テーマ）開催上の工夫の概要を紹介してみたい。

そもそもの発端は行事精選と本大会の内容の充実

・運営の効率・参加（出張回数）の容易などを期し、その年度の体育諸活動（経営・指導・研究等）の成果発表を、小・中・高校の総集編として 1 回の大会で収めようとするものである。●毎年県内 11 会場持ち回り、●主催は実行委員会（県・会場地教委、小中・高体連）、●主観は県小中・高校保体部会（小中・高体連支部）、●日程は 11 月上旬の 1 日

間、●内容は午前の全体会で講演・表彰(中学校優秀選手、県優良校・功労者)、午後の学校種別分科会での実演授業、研究発表・協議がその概要である。

この開催方式のメリットは、関係機関・団体間の協力関係の強化、参加の容易さ、内容の充実をもたらした他、会場地区の教育研究・体育団体内の組織固め及び諸活動の活発化を触発したことであろう。

反面、1日の日程では消化不十分、運営面でもこ

好きこそ物の上手

岐阜県小・中・高等学校保健体育研究会会長

岐阜県立長良高等学校校長 関谷好安



歌舞伎の『菅原伝授手習鑑』の中に、「好きこそ物の上手」という有名な台詞がある。この言葉は、小学館発行の『ことわざ大辞典』によると、「何事でも好きだとこれを熱心にやるから上達するものだ」と解釈されている。

ところで、いま仮に「上手こそ物の好き」と言葉の前後を置き換えてみると、どういうことになるだろうか。私はこの場合、逆にまた真理であると思う。

小学校の低・中学年ではほとんどの子供がいわゆる“体育好き”であったのに、学年が進み、学校段階が高まるにつれて、だんだん“体育が嫌い”が増えていくのは、「うまく出来ないから恥ずかしい」とか、「強くなれないからつまらない」といった、つまり、彼等の技能発達停滞が“体育ばなれ”の最大の原因になっているのではないだろうか。

れ以上の効率化は望めない苦しさも出てきている。本県では、この大会の他、各種行事が「精選」をねらい、直接的な関係団体によって企画・運営され、それ自身が県学校体育研究連合会の活動に集約(二バッテリー方式?)されている。本県「学体連」はこれらの諸活動を更に調整、賦活させるための方策について、今後とも斬新な視点から取り組みたい。

下世話に、「下手の横好き」ということも言われるから、一方にこういう者も大いにあるが、何はともあれ、子供たちの運動技能をより高め“上手”にしてやるのが、彼等の興味をつなぎ、意欲をかきたてて、多くの子供を“体育好き”にする最も大切な条件と考える。

新しい学習指導要領に基づく体育指導がいよいよ本年から小・中・高の全学年を通じて完全実施されることになり、「生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる」ことを目指すこととなった。

これは上記の観点から、誠に時宜を得た目標設定と言ってよく、“国民総体育”“生涯体育”へ向かって、体育指導者の一層の健闘を祈ってやまない。

奈良県学体研だより 58年度の研究実践より

奈良県学校体育研究会会長

奈良県生駒市立鹿ノ台小学校校長 池田治



本県の学校体育研究会は小学校体育研究会、中学校保健体育研究会、高等学校保健体育学会の三部で構成され、県内の国、公、私立の小・中・高校が全部加入している。

研究活動は、校種別に研究主題を決め、指定研究校を中心にして研究を深めている。

昭和58年度 校種別研究主題は

小学校 小学校における体育学習の指導法について

— ゲーム及びリレーの指導法 —

中学校 体操、ダンス、保健についての学習指

導法の研究

高等学校 運動の特性や課題に応じた効果的な学習指導法の研究

そして校種別研究会の終了後、まとめとして、例年1月下旬に小・中・高等学校合同で学校体育研究大会を開催している。

昭和58年度は昭和59年1月20日、奈良市の県立文化会館で

「小・中・高校の発達をふまえた保健体育学習のあり方」を研究主題として

1分科会 体力づくりをどうすすめればよいか。

2分科会 楽しい授業のすすめ方や評価をどうすればよいか。

3分科会 保健学習のすすめ方をどうすればよいか。

4分科会 小・中・高の発達をふまえた指導計画をどう考えればよいか。

の4分科会にわかれ、研究発表(各校種より)、研究協議を行い、盛会裡に終了した。

高知県学体研の歩み

～よりよい体育授業をめざして～

高知県学校体育研究連合会会長

高知大学教授



前田幹夫

「体育授業で勝負しよう」を合言葉に高知県学校体育保健連合会が小・中・高からなるユニークな組織として発足し、活動をはじめたのは昭和36年であった。以来、23回の研究大会を継続して今日に至っている。

この研究大会は小・中・高の教師が一堂に会してそれぞれの授業を学び合い、小・中・高という一貫した立場に立って授業の改善と充実をめざすものである。昭和52年には年1回の研究大会だけでなく、学体研として独自に調整、研究を行い、時代に即した推進方策をたてるべきであるということ意見が一致し、4年計画で調査、研究にとり組んだ。その結果は教科体育(運動技能)指導資料、教科体育(態度・知識・評価)指導資料としてまとめ、県下

の関係者、機関に配布し活用されている。また、「学体研便り」も15号を教え、県下の小・中・高の交流に役かっている。

しかし近年、学校教育の現状はとみに厳しくなり、学校体育の意味もまた改めて問われる状況にある。学体研をめぐる状況も厳しく難門が多い。学体研は学校体育保健の充実のために、どんな役割を今、果たすべきか。限られた予算の下でも、この基幹となる間に私たちはしっかりと答えなければならない。

学体研を支える一人一人が学校体育の原点をみずえ、学体研の歩みと現状に基づく具体的な方策を検討し、それを力を合わせて実現しようつとめたいと願っている。

全国大会に参加して、わが沖縄大会を思う

沖縄県立教育センター保健体育研究室

研究主事



新垣 範

第23回全国大会に沖縄県の学校体育の現状を報告し、課題の提案ができることは有意義な事である。

昭和45年長崎大会から神奈川大会(S58)までの研究主題をみてもその時代、時代の学校体育の課題が知られる。

さて、本県大会の趣旨は、生涯スポーツを志向する学校体育の在り方を究明しようとするものである。

「運動の特性に基づく楽しさを味わうための学習の指導はどうすればよいか」を研究主題とし、その基本的考え方に立って、具体的な学習過程の実践研究を進めているところである。それは、本県のみならず全国の課題であると考えられる。

本大会の特徴は趣旨、主題、部会主題、分科会主題、公開授業、研究発表、講演内容の一貫性を図る努力をしていることにある。また、小・中・高校の一貫性を図ることに力をそそいでいる。いずれも研

究を進めるに当然の事ではあるが、実際には困難点が多い。

子どもの多様な個性に対応できる教育をめざし、教師の教育観が大切にされる豊かな教育実践の展開を追い求めており、その実践の成果に期待をかけている。研究の主体性・自主性を大切にする地方自治の考え方が、国の精神とも合致するとも思われるので、それが生かされることが望まれる。本県は教育のみならず、歴史的なハンディーを背負い、また、中央からはなれた地理的なハンディーを克服する努力が常々要求される。本県の課題に対し、全国の先生方にご指導をいただく機会として心待ちにしている。また、これを機会に人と人の交流を深め、沖縄県の文化に理解と意義ある楽しさを味わってくださることを望み、心待ちにお待ちしたい。

夏の講習会……教師自身が体を通して得たこと

中央区立有馬幼稚園教諭 玉 貫 靖 子



私共の園では、「運動遊びを通して意欲的に取り組む幼児の指導法」というテーマのもとで研究を進めて二年目を迎えました。一年次では運動遊びにおける幼児の実態をとらえ、二年次では意欲的に取り組ませるには、どのような指導をしたらよいかに迫っていくことにしました。また、幼児に適した活動を系統的に配列し、当園の実態に即した指導の年間計画を作成したいと願っています。

それには、教師自身が実際に体を通して指導法を理解する必要性を痛感し、まず教師の資質の向上を図るために、当講習会に参加させていただきました。連日30度を越す猛暑の時期でしたが、参会の先生方は暑さもものとせず、講師の先生と共に熱のある研修が展開されました。

運動遊びのみに限らず、「幼児の発達と遊びの教

育的意義」の基本的な理論の講義を伺い、何故幼児にとって遊びが大切なのかという点を再確認いたしました。具体的な理論と実践指導とを平行して研修し、汗また汗の中で夢中で勉強させていただきました。その中で、運動遊びは幼児にとって自分自身で「できそう」「できた」という目やすや成功感もちやすく、意欲的に取り組む幼児を育てる活動として適していることが理解されました。

正直な話大変疲れましたが、教師自身が意欲的に取り組むことが幼児にやる気をおこさせ、進んで遊びに取り組める幼児を育てることができると言えるのではないのでしょうか。このような思いを新たに胸にし、この講習会で得たよこびや満足感で疲れた体の中にすがすがしさを感ずることができました。

「博多どんたく」におもう

日本教育シューズ協議会理事長 黒 田 浩 平



「足もとからの体力づくり」を旗印に、教育的価値の高い体育シューズの研究開発に取り組んでより既に15年。「靴内気候の改善」「正しい運動機能の開発」を叫びはじめてより既に15ケ年を経過した。

これだけ汗を流し、これだけ靴をすり減らし、これだけ声をからし、あらゆるチャンスに、あらゆる方法を駆使して既に15ケ年も経っているのだ。

日本は広いナァー とつくづく感じさせられている。靴こそ体力づくりの演出者!!

体育シューズは本当にこれでよいのか!! 5月3日、縁あって「博多どんたく」240万人の雑踏にまぎれこむチャンスにめぐまれた。

「どんたく音頭」ご存知 — ほんちかわい、ねんねしな、品川女郎衆は十奴 — の名調子につてパレードは続く。シャモジを叩きながら、踊りながらパレードは続く。

必然的に目は足もとのシューズにそそがれる。

町内会、職場、サークルなどのグループ、あるいは学校、宗教団体など、子どもという子どもがみんなはいているシューズ。服装のいかにかわかわらずみんなはいているシューズ。私達協議会が間違いだ

らけのシューズとして、追放の植玉第一号にかかげているバンドバレーシューズを、子どもたちはみんなはいているのだ。もし、あの子たちが「教育シューズ」を知り、そうして「教育シューズ」をはいたら。温度、湿度の上昇防止による疲労感!! ゆび先のグリップ、くつ底のストップによる推進力!! スキップはもっと軽やかに、踊りはさらにリズムカになるであろう……と。

あの子たちに「教育シューズ」を知らせたい、はかせたい、そしてよこばせたい。あの子たちの将来のために、と居ても立つてもらえない気持になる。と同時に、これ等シューズに無関心な指導者が無性に腹立たしく思われる。

九州の東京を自負する博多で —。九州の政治、文化の中心博多で —。

昭和37年だったか、岡山国体に「ユニホームと一緒にシューズも揃えて」と八方手を尽くしたが、その甲斐なく、ついに「白いシューズであれば何んでも」と投げだした当時。「教育シューズ」のなかった当時の苦勞を思い出した。

日本は広いナァー — と思うと同時に、

「自分がやらねば、誰れがやる」
「今やらねば、いつできる」
いつか、どこかで、いくたびか聞いた言葉が脳裡を貫いた。

私のすすめる本

日本女子体育大学教授 島 喜 八



体育学習評価ハンドブック

宇土正彦編著 大修館書店

◆評価と言うとまず頭に浮かぶのは、通知表である。また、点数や順位によって序列をつけることが評価だと考える人も多いようである。しかし、評価の考え方はこれでよいのだろうか。

評価は評価として終わるのではなく、評価することによってそのあとの教育活動を改善するという行為に結びつけることによって、評価の意味があるのではなからうか。

◆このような新しい評価観に立脚し、学習指導と一体化した評価の方法を具体的・実践的に解説しているのが本書である。

本書は三部から構成されており、第一部は理論編で体育における評価の考え方と評価の手順・方法な

限りなく爽やかな若葉の風を胸いっぱい吸い込み、さんさんと輝く5月の太陽に向かって思いきり胸をはった。

ど、評価の考え方と各領域別・運動別の評価の観点を具体的に解説している。学習評価の目的は一体何のためなのか、体育では何を評価するのか、体育における態度の評価は? など、わかりやすく解説している。第二部は学習評価の具体編で、新しい学習指導要領の線に沿いながら、小・中・高等学校の各教材ごとの学習評価の方法を学習指導の流れの中で、実践的にとらえて解説している。第三部は学習評価に関する諸問題編で、教育現場の中でよく直面する疑問や悩みをそのままの形で取り上げ、これに対し、具体的に解説している。体力の問題は学習評価の中でどのように扱ったらよいか、「楽しさ」の評価はどのようにすればよいかなど一問一答形式も取り入れながら、具体例をあげて解説している。

事務局だより

1. 日本スポーツ教育学会前進!

大石会長が主宰している「日本スポーツ教育学会」が、総学庶第453号、昭和59年5月15日付で、日本学術会議の学・協会部門に正式登録が承認された。これにより、学体連の活動を含めて広く体育学の実践・発展に資する要望を、大石会長を通じて学術会議に提出することのできる権利が与えられた。この線に沿って、貴重なご意見を学体連事務局にお寄せいただきたい。

2. 沖縄大会 あと5ヶ月!

昨年、大成功だった神奈川大会のあとを受けて、今年、第23回全国学校体育研究大会は沖縄県で開催される。今、沖縄の先生方は懸命な準備をしながら九州大会を兼ねて行うこの大会に、全国の多数の先生方が来て下さることを心から期待している。

(1) 期日 11月15日(木)、16日(金)

(2) 会場

第1日…全体会 那覇市民会館

表彰式、実技発表、

講演：日本体育大学学長 岩間英太郎

テーマ：今日の体育指導者に期待する

第2日…分科会 那覇市・浦添市の幼・小・中・高・養護学校計14校

(3) 研究主題

運動の特性に基づく楽しさを味わうための学習の指導はどうすればよいか

(4) 参加申込

9月10日(月)までに都道府県教委においてまとめて申し込む。万一遅れてもなるべく早く。

(5) 参加費 ￥4,500

(6) 宿泊費 1泊朝食つき￥7,500(ツイン)

(7) 沖縄県実行委員会から交通、宿泊などについて取扱うことをまかされた近畿日本ツーリストでは、次のように言っています。

○航空機…札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡の各空港から那覇空港までの航空座席を、当

社で確保しております。各県庁所在地の当社営業所に早目にお申し込み下さい。

遠隔地の方のために、空港に近い方はできる限り、早目の便をご利用下さい。

○弁 当…大会会場周辺には食堂がありませんので、必ず前もってお申し込み下さい。

○観 光…離島コースは席数に限りがあります。

(8) 大会実行委員会事務局は 〒900 那覇市旭町1 (沖配ビル5階) 県教育庁保体課 (0988-66-2726) 内です。

3. 夏の講習会

(1) 名 称 第4回障害児キャンプ指導者講習会
テマ 指導力を高める障害児キャンプの理論と実践

期 日 7月23日(月)～25日(水)

会 場 東京YMCA山中湖センター

参加費 16,000円(定員 30名)
締 切 7月14日(土)
申 込 学体連事務局(第1頁参照)
(2) 名 称 第15回全国学校体育指導者講習会
テマ 幼稚園…自由な活動と一斉の活動をつなぐ運動遊びの指導
小学校…一人一人を生かす、楽しい体育指導の計画と展開

期 日 幼稚園の部 7月28日(土)～30日(月)
小学校の部 8月1日(水)～3日(金)

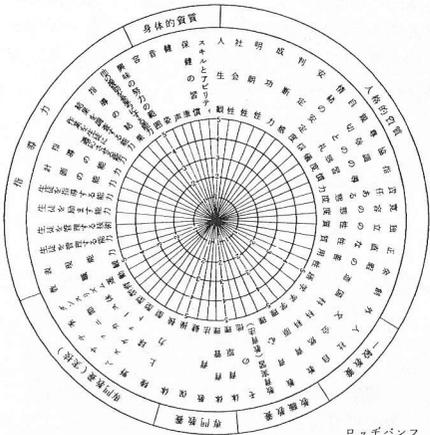
会 場 いずれも新宿区立戸塚第二小学校
国電 高田馬場駅下車3分

参加費 6,000円(定員 それぞれ100名)

締 切 7月24日(火)

申 込 学体連事務局(第1頁参照)

(事務局長 重田 一)



人数によりご相談に応じます。
一泊二食つき 三八〇〇円～四五〇〇円
苗場高原夏期合宿協力旅館

苗場高原ホテル 0257-89-3222
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國270-4
①90名 ②和室12畳1室 8畳13室
洋室ツイン10室 ダブル2室 トリプル1室
③大広間 洋室60畳1室 30畳1室 ④テニスコート全天候6面 グランド(共同)2面
⑤ビアノ1台

サンパレータカノ 0257-89-2509
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①50名 ②和室10畳1室 8畳8室 6畳1室
③大広間 洋室42畳1室 ④テニスコート全天候6面 グランド(共同)2面

ホテル さかえや 0257-89-2331
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①100名 ②和室10畳3室 8畳21室
洋室ツイン2室 ③大広間 和室30畳1室
洋室56畳1室 ④テニスコート全天候6面
グラウンド(共同)2面

福田屋旅館 0257-89-2011
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①96名 ②和室10畳8室 8畳6室 7.5畳5室
6畳4室 ③大広間 洋室45畳1室
④テニスコート全天候7面 体育館384平方メートル
グラウンド2面 ⑤ビアノ1台

柏屋旅館 0257-89-2501
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①50名 ②和室8畳2室 6畳10室 4.5畳1室
③大広間 和室14畳1室 洋室21畳1室
④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面

東屋ロッヂ 0257-89-2040
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①70名 ②和室10畳2室 8畳1室 6畳15室
③大広間 和室50畳1室 ④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面 体育館350平方メートル
1棟

ロッヂバンフ 0257-89-3215
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①35名 ②和室8畳1室 6畳9室
③大広間 洋室20畳1室 ④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面

苗場カントリーロッヂ 0257-89-2615
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①40名 ②和室12畳2室 10畳2室 8畳5室
③大広間 洋室26畳1室 ④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面

苗場コテージ 0257-89-2517
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①80名 ②和室10畳3室 8畳8室 6畳8室
③大広間 和室16畳1室 30畳1室
④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面

つくし旅館 0257-89-2052
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①24名 ②和室9畳1室 6畳3室 5畳2室
③大広間 洋室20畳1室 ④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面

ロッヂアルペン 0257-89-2416
新潟県南魚沼郡湯沢町大字三國
①30名 ②和室8畳1室 6畳8室 4畳1室
③大広間 洋室20畳1室 ④テニスコート全天候2面 グランド(共同)2面